

事 務 連 絡
令和6年9月11日

出店企業の皆様へ

(公財) 日本食肉流通センター

中長距離フェリー・RORO 船及び内航コンテナ船に係る
積載率動向の周知について 【協力依頼】

日頃から当センターの業務運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

以下のように、農林水産省畜産局より、周知依頼が来ておりますので、お知らせいたします。

関係団体各位

平素から農林水産行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和5年6月2日に、我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議が取りまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」において、「トラック長距離輸送から鉄道や船舶へのモーダルシフトを強力に推進し、最適なモードを活用したモーダルコンビネーションの展開を図るために、～（中略）～フェリー積載率についての定期的な調査・荷主企業等への情報提供を行い、利用可能な輸送力について周知することにより、鉄道や船舶の利用促進及び積載率の向上を図る」とされています。国土交通省においては、この決定を受け、中・長距離フェリー及びRORO船のトラック輸送に係る積載率の動向を調査し、その結果を令和5年8月より公表しております。

また、今回から、内航コンテナ船社の協力も得て、内航コンテナ船の積載率の動向についても公表することといたしました。

この調査は、中・長距離フェリー、RORO船事業者及び内航コンテナ船事業者へのアンケート調査により、対象期間中（今回は令和6年4～6月）の中・長距離フェリー、RORO船、内航コンテナ船に係る積載率動向の概算値を算出したものであり、今後も随時調査を実施し、その結果を公表していきます。

貴団体におかれましては、モーダルシフトの更なる推進や、いわゆる「2024年問題」対策の一助として中・長距離フェリー等を活用した輸送について検討いただけるよう、事業者の皆様への周知にご協力をお願いいたします。

【国土交通省ウェブサイト：積載率動向掲載ページ URL】
https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji03_hh_000184.html

【以下資料】（略）
ご興味のある方は、当センターまでお問い合わせください

- ・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について（令和6年4月～6月）
- ・ORO船のトラック輸送に係る積載率動向について（令和6年4月～6月）
- ・航コンテナ船の輸送に係る積載率動向について（令和6年4～6月）